

福井県教育総合研究所の沿革

昭和25年	4月 1日	福井県教育研究所を設置（昭和22年3月に文部省から出された「教育研究所開設に関する通達」により、福井県教育委員会規程（昭和25年福井県教育委員会訓令第37号）で設置）
	同日	所長は千田専平教育長が兼務
	20日	県教育委員会事務局指導課主管のもと県立図書館内に開所
	5月	全国教育研究所連盟に加盟
昭和26年	4月20日	第一次福井県標準学力検査を実施
	5月 1日	所報第1号を発行
	9月 7日	県立高志高等学校内に移転
昭和27年	6月10日	研究紀要第1号を発行
昭和28年	5月 1日	第7回東海北信教育研究所連盟研究発表会を開催
昭和30年	3月20日	県立図書館内に移転
昭和31年	5月 1日	所長は平原浩哉教育長が兼務
昭和32年	1月14日	「福井県教育研究所設置条例」、「福井県教育研究所規則」を公布
	5月11日	所長は川端喜代治教育長が兼務
	9月26日	教育委員会事務局機構改革により学校教育課主管となる
	10月24日	第16回東海北信教育研究所連盟総会研究発表大会を開催
昭和33年	9月	「福井県道徳教育の手引」を刊行
昭和34年	6月 5日	所長は山本寿教育長が兼務
昭和37年	5月17日	第25回東海北信教育研究所連盟総会・第1回研究協議会を開催
	11月	「福井県標準学力検査」を「福井県学力検査」に改称
昭和38年	7月 4日	所長は森欣吾教育長が兼務
昭和39年	12月14日	電気ビルへの県教育委員会事務局移転に合わせて、研究所も同ビル5階の指導課内に移転
昭和40年	2月15日	「福井県教育研究所15年史」を刊行
	4月 1日	所長は橋本大三教育長が兼務
昭和42年	10月10日	所長は岡島繁教育長が兼務
昭和43年	10月	第23回国民体育大会（福井国体）が開催
	11月18日	県電気ビル3階に移転
		県下教員研究志向調査を実施
昭和44年	4月 1日	所長は加藤秀雄教育長が兼務
	6月27日	県織協ビルに移転
	10月	教育研究所新庁舎工事着工（国体開催時の運動公園駐車場跡地）
	10月 1日	新庁舎建築起工式
	14日	県民会館にて教育相談を開始
昭和45年	3月31日	「福井県教育研究所規則」を公布
	4月 1日	「福井県教育研究所処務規程」を制定
	6日	「サイエンスカー太陽」発車式

	22日	研修講座を開始
	7月17日	教育研究所新庁舎に移転
	31日	新庁舎で研修講座を開始
	9月1日	斉藤豊 所長に就任
	11月1日	教育研究所・青少年センター庁舎落成式
昭和46年	6月1日	「福井県教育委員会行政組織規則」により各課分掌事務を決定
	7～8月	嶺南地区移動教育相談室を開設
	10月14日	第44回東海北信教育研究所連盟総会・研究発表大会を開催（芦泉荘）
昭和47年	4月1日	巨田元尚 所長に就任
	4月	県民会館での相談活動を止め、研究所に一本化
	6月21日	学制百年記念座談会を開催
	12月4日	福井県情報処理教育センター建設工事に着工
昭和48年	3月20日	「福井県教育研究所教育史研究室設置規程」を制定
	同日	「福井県教育百年史」編纂に着手
	4月1日	教育史研究室を設置
	6月18日	海外研修資料コーナー開設式
	7月25日	情報処理教育センター建設工事が完了
	9月18日	富士通FACOM230-25の設置が完了
	10月3日	情報処理教育センターを設置
	11月3日	情報処理教育課を新庁舎に移転
	12月4日	情報処理教育センター完成記念式典を挙行
昭和49年	4月1日	情報処理教育、生徒実習を開始
	同日	電話相談を開設
	9月11日	第45回全国理科教育センター研究協議会を開催
	26日	第50回東海北信教育研究所連盟秋季総会・研究発表会を開催
	10月15日	第10回東海北陸理科センター研究協議会を開催
昭和50年	11月	「福井県教育百年史」（第三巻・史料編一）を刊行
昭和51年	3月31日	「福井県の自然」－野外観察指導資料－を刊行
	7月3日	表現教育研修棟建設工事に着工
	10月19日	都道府県教育研究所長協議会研究大会、全国理科教育センター研究協議会を開催
昭和52年	3月25日	表現教育課を新設
	4月1日	山岸竹雄 所長に就任
	14日	表現教育研修棟建設工事が完了
	5月16日	表現教育研修棟2階に第一資料室・教育史研究室を移動
	6月9日	第55回東海北陸教育研究所連盟春季総会・研究協議会を開催
	7月	スライド教材「福井県の自然」を刊行
	10月	「福井県教育百年史」第四巻（史料編二）を刊行
昭和53年	3月	「福井県教育百年史」第一巻（通史編一）を刊行
昭和54年	4月1日	三上一夫 所長に就任
	10月17日	第50回全国理科教育センター研究協議会・発表会を開催

	29日	「福井県教育百年史」刊行完結記念式
11月		「福井県教育百年史」第二巻（通史編二）を刊行（全巻刊行）
		「教育機器利用の手引」を刊行
昭和55年	2～3月	若狭支所用地を造成
	3月31日	教育史研究室を廃止
	6月5日	第61回東海北陸教育研究所連盟春季総会・研究協議会を開催
	8月30日	教育研究所若狭支所新庁舎起工式
昭和56年	3月30日	教育研究所若狭支所建設工事が完了
	4月1日	教育研究所若狭支所が業務を開始
	6日	教育研究所若狭支所新庁舎落成・開所式
	9月29日	第17回東海北陸理科教育センター研究協議会を開催
	10月12日	全国教育研究所連盟英語LL研究協議会を開催
昭和57年	4月1日	藤羽靈昌 所長に就任
昭和58年	3月25日	相談課・若狭支所の特殊教育の業務が特殊教育センターに移管
	4月1日	川崎博 所長に就任
	4月	「福井県学力検査」から「福井県学力調査」に改称
昭和59年	4月	教育研究所指標を「親切・迅速・責任」とする
	5月	免許外教科担任教員研修講座を開始
昭和60年	2月18日	第1回福井県教育研究所研究発表会を開催
	4月1日	橋本亮二 所長に就任
	4月	教育研究所指標を「創造の視点・連帯協力体制・活力ある庁風」に改訂
	10月4日	情報処理教育センター新電子計算機組織ACOS550を導入
昭和61年	3月4/6日	第2回福井県教育研究所研究発表会を開催
	31日	「福井県教育委員会規則（規則第4号）」を一部改正
	4月1日	第一課・若狭支所業務に、同和教育を追加
	同日	教育研究所指標を「開かれた研究所・魅力ある教育研修・公僕精神」に改訂
昭和62年	3月10日	第3回福井県教育研究所研究発表会を開催
	4月1日	東出市二郎 所長に就任
	6月	学習意欲諸要因調査「マイライフ」を新設。第1回調査を実施
	9月3/4日	第23回東海北陸理科教育センター研究協議会を開催
昭和63年	3月2/3日	第4回福井県教育研究所研究発表会を開催（公開）
	4月1日	生活科担当所員を配置
	同日	全国産業教育センター所長協議会に加盟
	4月	教育研究所指標を「進取と創造の精神・魅力ある教員研修・学校に生きる研究」に改訂
	5月	駐車場の整備
平成元年	3月2日	第5回福井県教育研究所研究発表会を開催（公募・公開）（～3日）
	4月1日	情報処理教育センター新電子計算機組織をACOS610に

更新

		27日	東海北陸教育研究所連盟総会を芦原にて開催
		28日	第74回東海北陸教育研究所連盟研究協議会を開催（～29日）
	11月	28日	福井県教育研究所40年記念式典を挙行
		同日	福井県教育研究所40史を刊行
		28日	第6回福井県教育研究所研究発表会を開催（～29日）
平成	2年	4月1日	前田善隆 所長に就任
		5月7日	フレンド学級を開設
		24日	親の集いファミリールームを開設
		6月11日	第1回教育情報ネットワーク委員会を開催
		9月13日	第24回全国理科教育センター研究協議会初等理科部会を開催（～14日）
			若狭支所10周年記念式典を挙行
			若狭支所「十年の歩み」を刊行
平成	3年	4月1日	内藤保夫 所長に就任
		同日	文部省委託「情報手段の教育的活用に関する実践の研究」教育図書・教育資料のデータベース化を開始
		8月1日	福井県教育情報ネットワーク（FF-Net）を開始
平成	4年	2月26日	「マイライフ」を全面改訂
		28日	「教師のための登校拒否Q&A」を刊行
		3月11日	「教育情報ネットワークの在り方」を報告
		4月1日	電子計算機組織をACOS3400/65に更新
		同日	研究協力員制度が発足
		同日	「免許外教科担任教員研修講座」を「免許外教科担任教員講習会」に改称
		同日	文部省委託「登校拒否児童生徒の適応指導に関する調査研究」H4～5
	11月	12日	第5回中部ブロック産業教育センター所長協議会を開催（～13日）
平成	5年	2月17日	第14期全国教育研究所連盟共同研究第2回全国研究集会を開催（～19日）
		4月1日	竹内邦雄 所長に就任
			「所報」を136号より「窓」と改名
平成	6年	2月23日	福井県教育研究所研究発表会第10回記念大会を開催（～24日）
		3月28日	フレンド学級報告書「かえる」を刊行
		4月1日	不登校相談拡充事業を開始
		5月31日	教育情報ネットワーク（FF-Net）を整備（県立学校39校）
		6月1日	高校用「マイライフ」開発を実施
平成	7年	3月22日	「教育相談ご案内」を作成
		31日	研究紀要第100記念誌を刊行
		4月1日	真柄甚松 所長に就任
		同日	「個性を生かし、豊かな心を育てる教育の創造」を主題とする3か年研究を開始

	同日	電子計算機組織をACOS3400/75に更新
	同日	相談課内にいじめ対策特別委員会を設置
	8月31日	登校拒否を考える所内フォーラムを開催
	10月12日	全国理科教育センター研究協議会地学部会を開催（～13日）
平成 8年	3月29日	「マイライフ利用の手引」を刊行
	31日	「教師のためのマルチメディア活用読本」第1集を刊行
	同日	「FF-Net利用の手引」を刊行
	同日	「コンピュータの教育利用の手引（小・中学校編）教師のためのQ&A」を刊行
	4月 1日	片桐哲郎 所長に就任
	同日	若狭支所を新嶺南教育事務所に統合
	同日	「情報処理教育課」を「情報教育課」に改称
	同日	「情報処理教育センター」を「情報教育センター」に改称
	25日	東海北陸教育研究所連盟総会を開催（26日）
	9月 5日	東海北陸教育研究所連盟研究協議会を開催（～6日）
	19日	東海北陸理科教育センター研究協議会を開催（～20日）
平成 9年	3月21日	「教師のためのマルチメディア活用読本」第2集を刊行
	29日	「教師のための教育相談Q&Aポケット」を刊行
	4月 1日	森嶋太栄治 所長に就任
	同日	機構改革により6課制から5課制に再編 （総務課第一課、第二課、表現教育課、相談課、情報教育課から、企画運営課、教科教育課、科学教育課、教育相談課、情報教育課）
	同日	基本研修（初任者研修、教職経験者研修、幼稚園新規採用教員研修）が学校教育課から業務委譲
	同日	小学校教員対象に理科実験巡回研修を開始
	5月15日	「福井県教育用ソフトウェアライブラリーセンター」を開設
	6月26日	第33回全国教育研究所連盟管理運営事務等連絡協議会を開催
	10月	「福井県初等中等教育研究会」を設置
平成10年	3月23日	「教師のためのマルチメディア活用読本」第3集を刊行
	27日	フレンド学級報告書「ふれあうことで」を刊行
	4月 1日	「免許外教科担任教員講習会」を「免許外教科担任教員研修講座」に改称
	同日	小林啓佑 所長に就任
	同日	教職員研修講座案内の様式を改訂
	同日	小学校教員対象に作品の見方教室を開始
	同日	電子計算機組織としてパソコンを充実更新
	15日	FF-Netを地域情報ネットワークと接続
	9月 1日	心の教育相談員配置事業を開始
	同日	文部省「マルチメディアの特性を生かした教育の在り方」について調査研究を受託
	11月10日	合同宿泊体験学習ウィズ・フレンズを開始

平成11年	7月19日	教育情報衛星通信ネットワーク（e1-Net）を運用開始
	7月～	十年経過教員研修で社会貢献活動を実施
	8月21日	福井県海外教育事情研究会事務局を近年派遣団に移管
	11月26日	福井県教育研究所50周年記念式典を挙行
	12月	コンピュータ西暦2000年問題対応
平成12年	3月10日	福井県教育研究所50年史を刊行
	4月1日	影本清志 所長に就任
平成13年		特設研修で「小学校における英語活動」「新たな荒れへの対応研修講座」を実施
平成14年	4月1日	河合正博 所長に就任
	同月	インターネット学習資料室を開設
		特設研修で「教育の情報化と授業づくり」「教育評価研修講座」を実施
		本所が「教員の資質向上と研修ビジョン」を策定
平成15年	4月1日	西輝昭 所長に就任
	4月	教育情報ネットワーク（FF-Net）をインターネットに対応
	同月	教育情報データベースを開設
		主任等研修を開始
	11月	第51次福井県学力調査および学習や生活に関するアンケート調査を実施
平成16年	4月1日	機構改革により組織を管理室、教職研修課、教科研修課、科学情報課、教育相談課に編成
	同日	赤澤孝 所長に就任
	5月	第52次福井県学力調査を実施
平成17年	4月1日	津田節江 所長に就任
		「指導力不足教員に関する研修」「教養を高める研修」を開始
平成18年	4月1日	「要請訪問研修」を「学校訪問研修」と改称
	5月	第54次福井県学力調査を、小6、中3を対象に実施
	7月	教育情報衛星通信ネットワーク（e1-Net）を活用した研修を開始
平成19年	2月	第56次福井県学力調査を小5、中2を対象に実施
	4月1日	加藤良子 所長に就任
	同日	文部科学省の委託事業「問題を抱える子ども等の自立支援事業」の実践研究を開始
		臨時任用講師研修を開始
平成20年	4月1日	中堅教員のキャリアアップのためのミドルリーダー研修を開始
平成21年	4月1日	松田通彦 所長に就任
	6月	教材研究支援システムの運用を開始
	11月20日	全国適応指導教室連絡協議会・第15回東海・北陸地域会議福井大会を開催
平成22年	11月17日	東海北陸教育研究所連盟総会・第95回研究協議会を開

		18日	催 全国教育研究所連盟20期共同研究第1回全国研究集会を開催(～19日)
平成23年	1月	31日	「福井県学力調査」を「SASA」と改称し、全教科で活用力問題を出題(実施期間は2月4日まで)
	4月	1日	ミドルリーダー研修を拡充したミドルステップアップ研修を開始
平成24年	4月	1日	中島嘉文 所長に就任
	10月		内定者研修を開始
	12月		SASAを実施
平成25年	4月	1日	若手教員研修(1～3年目)を開始
	5月	24日	放課後セッション(事例相談会)を開始
	6月	1日	文部科学省の委託事業「心の訪問支援員」を設置し、各学校・家庭に派遣する等の実践研究を実施
	11月	21日	都道府県指定都市教育センター所長協議会「食育・環境教育分科会(第4回)研究協議会及び研究発表会」を開催(～22日)
平成26年	3月		福井県教育研究所ネットワークシステムの運用を開始
	4月	1日	機構改革により組織を管理室、研修部、調査研究部、教育相談部に編成
		同日	小和田和義 所長に就任
		同日	研修を、実践型集合研修(基本研修、職務研修を含む)、通信型研修、訪問研修の三本立てにする。
		同日	研究ユニット(数学、英語、学力調査、教育相談)を組織した研究活動を開始
	5月		教育相談機関ネットワーク会議による教育相談活動を開始
	6月		通信型研修の配信を開始
		13日	教育相談ネットワーク会議を開始
	7月		子育て応援のための「家庭教育相談・応援サイト」を開設
	10月	16日	三年間にわたる地区PTA連合会と連携した家庭教育フォーラムを開始
	12月	11日	SASAの問題を「A基礎力問題」「B活用力問題」「Cチャレンジ問題」の三つに分類して実施(～12日)
平成27年	4月	1日	若手教員自主学習サークルによる若手教員の支援を開始
		同日	研究ユニット(アクティブ・ラーニング)が研究活動を開始
平成28年	3月		適応指導教室(フレンド学級)閉室
	4月	1日	教育研究所移転準備室を設置
		同日	「ミドルステップアップ研修」を「中堅教員研修」に改称
		同日	研究ユニット(大学入試制度改革)が研究活動を開始
		同日	訪問研修「突破力育成!学校サポートプログラム」「高校教育相談室応援」を開始
		同日	障害を理由とする差別に関する相談窓口業務を開始

	6月 1日	学習支援システムの運用を開始
	6月	遠隔授業・研修システム整備事業によりWeb会議システムを導入
	9月 2日	全国適応指導教室連絡協議会・第22回東海・北陸地域会議福井大会を開催
	10月	坂井市春江町（旧春江工業高等学校）に移転
平成29年	4月 1日	福井県教育総合研究所に名称変更
	同日	機構改革により組織を管理室、教科研究センター、先端教育研究センター、教職研修センター、教育相談センター、教育博物館に編成
	同日	本所にサイエンスラボが開所
	同日	「十年経験者研修」を改め、「中堅教諭等資質向上研修」を開始
	同日	ミドルリーダー養成研修を開始
	同日	マネジメント研修を開始
	同日	福井大学教職大学院と共催で免許状更新講習（中堅教諭資質向上研修読替可）を開始
	4月 1日	教育相談センターに心理職、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置
	15日	教育総合研究所開所記念式典を挙行
	同日	本所にて教育博物館が開館
	29日	サイエンスラボにて理科実験配信を開始
	6月 9日	福井大学大学院教育学研究科と教育総合研究所の連携・協議に関する協定を締結（令和4年まで継続。令和5年3月28日 福井大学と福井県教育委員会の連携・協働に関する協定に格上げ）
	6月 21日	福井県適応指導教室連絡協議会を創設し、事務局を教育相談センターに設置
	7月 22日	「東京大学の研究者に学ぶ講座」（小型模擬人工衛星開発講座）を開始
	9月 30日	「京都大学の研究者に学ぶ講座」（iPS細胞講座）を開始
平成30年	1月 16日	独立行政法人教職員支援機構福井研修センターを設置
	2月 28日	小学校における外国語教育指導者養成研修を開催
	4月 1日	牧野行治 所長に就任
	同日	「教育のための科学研究所」と連携し、リーディングの研究を開始
	9月 28日	天皇皇后両陛下が行幸啓で教育博物館を御視察
平成31年	2月 11日	課題解決型学習モデル開発事業成果発表会を開催（以後令和2年度まで毎年度開催）
令和 元年	10月 1日	教育相談センターに自立支援センターを開設
	12月	福井県学力調査（SASA）をABC融合問題とする。
令和 2年	4月 1日	教育委員会機構改革により、教職員課主管となる。
	同日	E-サポート（市町教委と連携した、組織的・体系的な訪問型研修）を開始
	同日	研修制度を精選・効率化

		同日	教員研修制度の見直し（ミドルリーダー養成研修など）	
		同日	マルソー文庫の運用を開始	
	4月		コロナ禍により、4月から8月までの集合型研修を全て中止。一部、オンラインやオンデマンドでの実施。	
			福井県版ポジティブ教育プログラム事業を開始	
	5月		各種教員研修にオンライン研修を導入	
	6月	12日	G I G Aスクール構想実現のため、タブレット端末活用プロジェクトチームを創設	
	11月	7日	第1回ふくい缶サットグランプリを開催（～8日）	
令和	3年	4月	1日	北川裕之 所長に就任
				コロナ禍のため、集合型とオンライン型を併用したハイブリッド型を中心に研修を実施（次年度以降も継続）
	10月	29日	教育博物館ホームページ改修（収藏品検索機能追加）	
	11月		生活や学習、学級に関する調査（質問調査）をタブレット端末等を使用し、対象学年を拡大して実施	
令和	4年	4月		教育総合研究所研修システムSSO（シングルサインオン）開始
		4月	4日	デジタル・シティズンシップ教育の研究を開始
		6月		生活や学習、学級に関する調査（質問調査）を年2回に回数を増やして実施（6月、11月）
		8月	2日	教育博物館学制150年記念企画展『学校150年物語』開会式
	11月			福井県学力調査（SASA）の過去問をWeb掲載して児童生徒に提供
		3月	7日	ふくい教育フォーラムを開催（～3月9日）
令和	5年	4月	4日	「デジタルアーカイブ福井」において、教育博物館の収蔵資料公開開始
		5月	22日	新教育課題研究課にICT教育サポートセンター設置